



平成 25 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 北越紀州製紙株式会社  
代表者名 代表取締役社長 CEO 岸本 哲夫  
(コード番号：3865 東証 1 部)  
問合せ先 総務部広報担当部長 柳澤 誠  
(TEL. 03-3245-4500)

### 大王製紙株式会社との総合技術提携の効果の見通しについて

当社と大王製紙株式会社は平成 24 年 11 月 14 日に総合技術提携基本契約を締結、同日総合技術提携委員会を設置し、基本的に相互に有益となるテーマの選定およびその効果の試算を行ってまいりました。

総合技術提携委員会は、抄紙技術部会、パルプ技術部会、ユーティリティ部会、個別課題検討部会の 4 部会で構成しており、それぞれの部会が、現時点まで両社が取り組むべき課題に関して協議を重ねてまいりました。

その結果として、抄紙技術部会・パルプ技術部会・ユーティリティ部会の 3 部会は、平成 18 年に両社間で締結した技術提携の深化・発展・拡大を目的とし、当該技術提携の対象範囲であった塗工紙およびパルプの製造技術面だけでなく、その対象範囲を両社が共通して製造する製品全般および各工場の運営技術の分野にまで拡大しております。

加えて個別課題検討部会では、相互 OEM、交錯物流の改善、原燃料の相互融通等によるコスト削減をはじめ、両社にとって相互に有益となるテーマに取り組んでまいります。

現時点における両社の具体的取り組みによって、両社合計で平成 25～27 年度 3 年間累計では約 54 億円（当社約 19 億円、大王製紙株式会社約 35 億円）、内 3 年目の平成 27 年度に約 29 億円（当社約 12 億円、大王製紙株式会社約 17 億円）のコスト削減を主とする効果が見込まれます。

今後も両社で相互に有益となるテーマの抽出を継続していくとともに、現時点で選定したテーマを掘下げて取り組むことによりさらなる効果を発現させ、両社の企業価値の向上に努めてまいります。

以上